目次

I. 総括研究報告 1

がん統計を活用した、諸外国とのデータ比較に基づく 日本のがん対策の評価のための研究 3

II. 分担研究報告 11

がん関連統計の利用制度、手続きの調査と国際比較 13

Federated Learning によるデータシェアリング 20

目標モニタリング項目収集による 2012 年（平成 24 年）～2015 年（平成 27 年） 5 年生存率の推計 24

臓器別がん登録等とのデータ融合 33

―乳がん患者の地域の困窮度別の属性・臨床情報の分布に着目して― 33

人口動態・がん登録等を利用した統計値の集計とがん対策 39

47 都道府県がん対策推進計画（第 4 期） 39

がん罹患率および死亡率の年次推移の検討 44

院内がん登録と全国がん登録を用いた地域のがん医療構造の評価 51

匿名がん登録データの活用　がん罹患・生存率やデータ精度の国際比較 60

全国がん登録に基づく希少がんの統計 60

人口動態・がん登録等を利用した統計値の集計と国際比較 －地域におけるがん診療連携拠点病院の整備状況とがん患者の予後との関連 67

アジア国立がんセンター協議会（ANCCA）21 か国における小児がんを対象とした 72

国家がん対策計画の策定と実装に関する研究 72

都道府県におけるがん登録データの利用促進のための支援 99

愛知県内のがん診療連携拠点病院の院内がん登録情報を利用したがん患者の 医療へのアクセスに関する研究 123

院内がん登録情報による骨軟部肉腫の治療内容と予後の検討 129

アジアにおける小児がんの疫学 132

大阪府におけるがん経験者の実態把握 138

III. 研究成果の刊行に関する一覧表 147

IV. 倫理審査等報告書の写し 153